

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 1 区分
 【発行日】 平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【公開番号】 特開 2004-69626 (P2004-69626A)
 【公開日】 平成 16 年 3 月 4 日 (2004.3.4)
 【年通号数】 公開・登録公報 2004-009
 【出願番号】 特願 2002-232281 (P2002-232281)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 4 B 19/06

G 0 4 B 3/04

【F I】

G 0 4 B 19/06 C

G 0 4 B 3/04 A

【手続補正書】
 【提出日】 平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 特許請求の範囲
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

文字板と、該文字板下に配置するとともに前記文字板表面と平行に受光面を配置するリング状のソーラーセルを有するソーラーセル搭載の電子時計であって、
前記電子時計の外周方向に延伸する板状部材を有し、
前記板状部材上面に前記ソーラーセルを配設する
 ことを特徴とするソーラーセル搭載の電子時計。

【請求項 2】

前記板状部材は、前記電子時計の外部操作部材としての巻真を保持する巻真スペーサーである
 ことを特徴とする請求項 1 に記載のソーラーセル搭載の電子時計。

【請求項 3】

前記板状部材は、前記電子時計の外部操作部材としての巻真を保持する巻真スペーサーであり、
前記巻真スペーサーは前記電子時計を構成する地板の外周方向に延伸する延伸部を有し

、
前記延伸部上面に前記ソーラーセルを配設する
ことを特徴とする請求項 1 に記載のソーラーセル搭載の電子時計。

【請求項 4】

前記板状部材は、時計基礎ムーブメントの基板となる地板である
 ことを特徴とする請求項 1 に記載のソーラーセル搭載の電子時計。

【請求項 5】

前記地板上面と前記ソーラーセル上面の断面高さ位置をほぼ同じ高さとする
 ことを特徴とする請求項 3 または請求項 4のいずれかに記載のソーラーセル搭載の電子時計。

【請求項 6】

前記板状部材は前記文字板を位置決め又は固定するための固定部を有することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれかに記載のソーラーセル搭載の電子時計。

【請求項 7】

前記ソーラーセルより内周領域の前記文字板裏面には遮光部を設ける
ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれかに記載のソーラーセル搭載の電子時計。

【請求項 8】

前記ソーラーセルより内周領域の前記文字板下には遮光シールを配置することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 7 のいずれかに記載のソーラーセル搭載の電子時計。

【請求項 9】

前記板状部材下面は外周に向かって徐々に厚さを薄くする
ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 8 のいずれかに記載のソーラーセル搭載の電子時計。

【請求項 10】

前記巻真を着脱するための巻真着脱レバーのレバー先端は、前記板状部材の開口であるレバー穴から覗かせる
ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 9 のいずれかに記載のソーラーセル搭載の電子時計。

【請求項 11】

前記板状部材は前記ソーラーセルを位置決め又は固定するための固定部を有する
ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 10 のいずれかに記載のソーラーセル搭載の電子時計。

【請求項 12】

前記文字板と前記ソーラーセルとが対向する領域の前記文字板は光透過性である
ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 11 のいずれかに記載のソーラーセル搭載の電子時計。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明のソーラーセル搭載の電子時計は、文字板と、該文字板下に配置するとともに前記文字板表面と平行に受光面を配置するリング状のソーラーセルを有するソーラーセル搭載の電子時計であって、前記電子時計の外周方向に延伸する板状部材を有し、前記板状部材上面に前記ソーラーセルを配設することを特徴とする。